

匿名データの受領まで1か月程度の余裕を見込んでください。

匿名データの提供依頼申出書 (高等教育目的関係)

平成23年9月20日

(最終更新日:平成 年 月 日)

厚生労働大臣 殿

「最終更新日」欄は記入しないでください。

【 提供依頼申出者 】

(提供依頼申出者が法人その他の団体の場合は、本欄に記入してください。)

法人その他の団体の名称	個人が提供依頼申出をする場合は、記入しないでください。
(所在地)	
(電話)	

(個人の場合は、申出者本人について記入してください。
法人その他の団体の場合は、代表者又は管理人について記入してください。)

所属、職名	A大学 大学院経済学研究科 計量経済学専攻 教授		
ふりがな	こうせい たろう	捺印又は署名をしてください。	原則として、平日の日中に連絡が取れる勤務先を記入してください。
氏名	厚生 太郎	印	
生年月日	1960年〇月〇日	連絡先	〒100-8916
自宅(住所)	〒000-0000 東京都〇〇区〇〇町1-2-3	(所在地)	東京都千代田区霞が関〇-〇 A大学B学部C学科 第3研究室
(電話)	03-0000-0000	(電話)	03-0000-0000 内線〇〇
(E-mail)	〇〇〇@〇〇〇	(E-mail)	〇〇〇@.〇〇.ac.jp

原則として代表及び内線番号を記入してください。

原則として勤務先のドメインのアドレスを記入してください。

【 代理人 】 (代理人に委任する場合は、本欄に記入してください。)

所属、職名	代理人に委任する場合のみ、「提供依頼申出者」に準じて記入してください。		
ふりがな			
氏名			
自宅(住所)	〒	(所在地)	
(電話)		(電話)	
(E-mail)		(E-mail)	

記			
1 匿名データの名称及び年次等並びにファイル数	名称	年次等	ファイル数
	〇〇調査 データA	平成〇年	5
2 匿名データの利用目的等	(1) 直接の利用目的 利用する大学、研究科・学部学科の名称 〔 A大学大学院 経済学研究科（修士課程） 計量経済学専攻 〕		
	① 授業科目の名称及び実施期間 多変量解析演習2（平成23年10月～平成24年2月：後期セメスター）		
	② 授業科目の目的、必要性 本演習は、経済学や経済統計に関する基本的な知識をもつ大学院生を対象に、公的統計の匿名データに関する処理、加工の方法を学習することによって、現代社会が直面する諸問題に対して、統計データによる実証分析を行う能力を磨くことを目的としている。		
	③ 授業科目の内容、匿名データを利用する必要性及び利用方法 主として若年労働市場を対象に、〇〇調査の匿名データを用いた実証分析を行うことによって、統計データの分析能力を身につける。 具体的な利用方法は次のとおり。 ・ 指導教官が事前に研究室内で匿名データを用いた演習内容の整理を行う。 ・ 演習においては、演習室において指導教官がプロジェクターで分析の模範を示しながら、学生が1人1台のパーソナルコンピュータに格納した匿名データを使って、統計解析ソフトにより分析を行う。		
④ 匿名データから作成する統計又は統計的研究の内容 (分析例) 【例1】社会経済的属性、健康状態によって若年層の類型化を行う統計表を作成することにより、若年層の就業状況等に関する基本的な特徴を明らかにする。 【例2】性別、年齢といった個人の社会的属性や、就業年数や従業者規模等の就業に関する属性、健康状態を説明変数とした回帰分析を試みることにより、就業行動に影響を及ぼす要因を明らかにする。 匿名データを用いて作成する主な統計表の例は以下のとおり。 (統計表の例) 表1 男女、年齢階級、配偶者の有無、世帯所得、就業状態別推計人数			

指導教員が申出者となり大学院生が学位論文を作成する場合は、①及び②欄にその旨を記載してください。

「実施期間」は、匿名データの利用期間だけでなく、研究計画全体の期間を記入してください。

「授業科目」の内容、匿名データを利用しなければならない理由、具体的な匿名データの利用方法を記入してください。

匿名データを利用して行う分析内容を記入してください。
作成する統計表名を記載しても構いません。統計表レイアウトを記入する場合は、別添としてください。

<p>① ② ③ ④ ⑤</p> <p>※ (1) 及び (3) に記載した利用目的以外のすべての利用目的を記入してください。</p>	<p>(2) その他の利用目的</p>
<p>申出時点において公表を予定しているもの全てについて記載してください。</p>	<p>(3) 成果の公表予定及び方法</p> <p><input type="checkbox"/> 論文 (方法： 時期 年 月)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 報告書 (方法： A大学教育研究活動状況報告書 (刊行物、WEBにより公開) 時期 平成23年7月)</p> <p><input type="checkbox"/> 学会・研究会等で発表 (学会、研究会等の名称： 時期 年 月)</p> <p><input type="checkbox"/> 学会誌等に掲載 (学会誌等の名称： 時期 年 月)</p> <p><input type="checkbox"/> その他 具体的な公表方法： (時期 年 月)</p>
<p>3 匿名データの提供希望年月日</p>	<p>(年月日) 平成23年10月20日 (理由) 後期開講科目で利用するため</p>
<p>4 匿名データの利用場所、保管場所、利用環境及び管理方法</p> <p>複数箇所で利用、保管する場合は、欄を追加して書き分けてください。</p>	<p>A大学大学院経済学研究科第3研究室 (Dキャンパス第1号館第E号室) (保管場所) A大学大学院経済学研究科第3研究室内の施錠可能なキャビネット (利用場所と保管場所が異なる場合は、その理由) なし</p>

(利用環境、管理方法)

- 匿名データの利用場所（匿名データファイルの保管を含む。）は、匿名データが持ち出されないように施錠可能な物理的場所限定される。
- 匿名データは、利用場所から取り外し可能な外部記憶装置等に転送される等により持ち出されない。
- 匿名データは、限定された媒体に格納され、施錠可能なキャビネット等で保管される。
- 匿名データの利用時は、利用場所に存在する者が制限される、又は何らかの確認行為が行われる。
- 匿名データの利用時のコンピュータの環境は、インターネット等の外部ネットワークに接続した状態としない。
- 匿名データを利用するコンピュータに、コンピュータウイルス対策、セキュリティホール対策、ID・パスワード認証対策、スクリーンロック等の不正操作対策の全てが図られている。
- 外部ネットワークに接続する可能性のあるコンピュータや利用者以外の者が利用するコンピュータに匿名データ及び中間生成物を残留させない措置をとる。また、利用者以外の者が匿名データ及び中間生成物を保管しているコンピュータにアクセスできないように制御された環境である。
- 提供される匿名データに加え、集計作業等によって生成される匿名データを含む中間生成物及び廃棄物についても、漏洩等事故を防止するために適正な管理を図る。
- 匿名データは指導教員が保管・管理し、学生には保管・管理させない

ホストコンピュータ、サーバ接続、利用時にインターネット接続を必要とする統計解析ソフトウェアは利用できません。

※1 該当するものすべてについて、□を選択してください。

※2 利用場所及び保管場所が2か所以上の場合は、本欄を別紙として各場所についてチェックしてください。

5 匿名データの利用期間

平成25年2月28日まで

※1 必要最低限の期間としてください。

※2 利用期間終了日は厚生労働省が提供媒体の返却を受ける期限の日になります。

6 匿名データを取扱う者

※1 提供依頼申出者及び利用者、委託する場合の委託先、その他取扱者の区分が明確に分かるように所属・職名等の欄に記載してください。

※2 集計等の民間委託を行う場合はその旨及び委託先で匿名データを扱う者の氏名、所属等を記載してください。

※3 利用者が多い場合は、別紙にしてください。

氏名	所属・職名	利用場所	ファイル数	利用するコンピュータ
厚生 太郎	A大学 経済学研究科 計量経済学専攻 教授	A大学 経済学研究科 第3研究室	1	機器番号ABC01
労働 安子	A大学 経済学研究科 計量経済学専攻 修士課程1年	同上	1	機器番号ABC02
総務 次郎	同上	同上	1	機器番号ABC03
国土 大地		同上	1	機器番号ABC04
農林 花子		同上	1	機器番号ABC05

利用するコンピュータを物理的に特定できる管理番号等を記入してください。

	ファイル数計： 5 枚
7 現に提供を受け、又は今後提供を依頼する予定がある調査票情報及び他の匿名データ	<p>(現に提供を受けている調査票情報及び他の匿名データ) 平成〇年〇〇実態調査 (〇〇省、匿名データ〇〇編)</p> <p>(今後提供を依頼する予定の調査票情報及び他の匿名データ) なし</p> <p>※1 他府省等所管のものを含み、かつ利用期間が本申出に係るものと重なるものについて記載してください。</p> <p>※2 該当がない場合は、各欄にその旨を記載してください。</p>
8 匿名データの提供の方法等 ※ 希望する□を選択してください。	<p>(1) 提供の方法 (媒体)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> DVD-R</p> <p>(2) 送付の希望の有無</p> <p><input type="checkbox"/> 送付を希望 <input checked="" type="checkbox"/> 直接受取りを希望</p>
9 匿名データ利用に関する倫理的教育の状況 ※ 該当する□を選択、記載してください。	<p>匿名データを利用する学生に対する統計データ利用に関する倫理的教育の実施状況又は講義計画等について具体的に記載してください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は実施予定 <input type="checkbox"/> 実施していない</p> <p>実施済み又は実施予定の場合は、当該教育の授業科目名、概要、時間等について記入してください。</p> <p>授業科目名：多変量解析演習 1</p> <p>概要：匿名データを利用する本科目の前提科目（前期に開講）において、統計法制度、個人情報、情報通信技術等の観点から、マイクロデータ利用に係る統計倫理的教育を実施済みであり、利用者の全員が履修済である。</p> <p>時間数：90分 × 2コマ</p>
10 過去の提供履歴 ※ 該当する□を選択してください。	<p>(1) 過去に厚生労働省から「委託による統計の作成等」又は「匿名データ」の提供を受けたことがありますか。</p> <p><input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>(2) 過去に他府省又は統計センターから「委託による統計の作成等」又は「匿名データ」の提供を受けたことがありますか。</p> <p><input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>ある場合は、府省名等と統計調査の名称を記入して下さい。</p>

7 欄に記入したものは除外して記載してください。

	<p>(3) 統計法令に基づく罰則又は契約違反等により提供禁止措置を受けたことがありますか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 現在受けている <input type="checkbox"/> 過去に受けたことがある</p>
<p>11 匿名データの利用場所が日本国外である場合</p> <p>※ 該当する□を選択してください。</p>	<p>(提供要件)</p> <p><input type="checkbox"/> 二以上の外国政府等から調査票情報等の提供を受け、かつ日本の公的機関若しくは一以上の外国政府等から職員の派遣、資金の提供等の支援を受けており、かつ上記提供及び支援を直近5年間継続して受けている</p> <p><input type="checkbox"/> 調査票情報等の提供を受けた外国政府の名称、調査票情報等の名称・内容、支援を受けた日本の公的機関又は外国政府等の名称、提供を受けた支援の内容を記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 日本政府の職員が提供依頼申出者の属する機関に出向しており、匿名データの利用状況の確認を依頼することが可能である。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該職員の氏名・所属、出向元の所属機関の名称を記載の上、当該職員の承諾書を添付してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 提供依頼申出者又は代理人（利用者の範囲に含まれている者に限る。）が、匿名データの利用期間中に厚生労働省へ来訪し、厚生労働省が行う利用状況等に係る日本語によるヒアリングに対応可能である。</p> <p><input type="checkbox"/> 訪問可能時期（提供開始日から1年以内に限る）</p>
<p>12 その他必要な事項</p>	<p><別添></p> <p>各研究室配置図</p> <p>シラバス</p> <p>業績一覧</p>

利用場所、保管場所、を確認できる図面に、利用者、利用するデータ、利用するコンピュータとの対応が分かるよう記入した書類を添付してください。

には、必要に応じて、様式には簡潔にその概要及び「詳細は別添○参照」の旨を記載すると資料を添付して差し支えありません。

2 用紙の大きさは、日本工業規格A4としてください。

匿名データの利用に当たって

統計法第36条に基づき匿名データの提供を受けた場合は、提供依頼申出者、代理人及び利用者は次の事項について遵守する必要があります。

- 1 様式第5号の別添「匿名データ提供の約款」に同意すること。
- 2 提供された匿名データは、提供依頼申出書に記載した目的以外に利用しないこと。
- 3 提供された匿名データは、第三者に提供しないこと。
- 4 提供された匿名データは、他に漏れないよう厳重に管理すること。
- 5 提供された匿名データは、不適切利用を行わないこと。
万が一遵守できなかった場合は、厚生労働省が科す提供禁止措置に合意すること。
- 6 提供された匿名データは、利用期間終了日までに厚生労働省へ返却すること。
- 7 提供された匿名データにより作成した統計等は、公表すること。
公表しなかったものは、中間生成物として消去すること。
- 8 成果の公表に際しては、①、②を遵守すること。
 - ① 統計法第36条に基づき、厚生労働省から匿名データの提供を受けた旨を明記
 - ② 匿名データを基に提供依頼申出者又は利用者が独自に作成・加工した統計等であり、厚生労働省が作成・公表している統計等とは異なる旨を明記
- 9 提供された匿名データは、次のような利用を行わないこと。
 - ① 特定の個人や事業所等の識別を試みようとする利用
 - ② 他の調査票情報、匿名データ又はその他個体識別が可能となり得るデータとのリンケージによる利用
 - ③ 個別データに着目した利用等
 - ④ その他、厚生労働省が禁止する利用
- 10 匿名データによって作成した統計についての所有権、意匠権、著作権、著作人格権を行使しないこと。
- 11 その他匿名データの利用に際しては、厚生労働省の指示に従うこと。